

第1回北海道WGミーティング

擦文からアイヌ ー農耕の縮小ー

東北大学大学院
国際文化研究科
深澤百合子

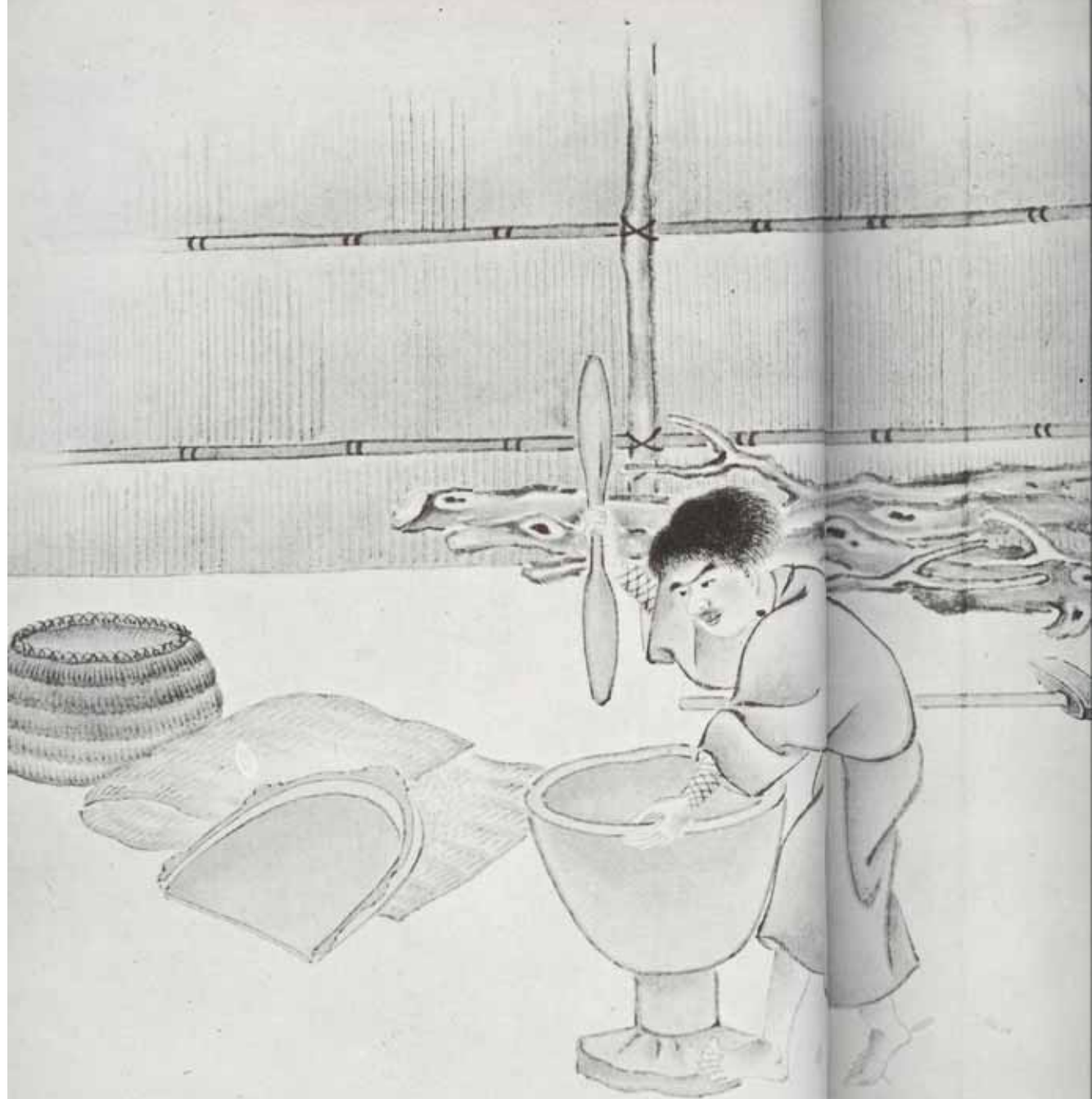
農耕の小規模化

それとも・・・

ウヅノ下ノ草圖







蝦夷島

松前藩 (和人)

蝦夷 (アイヌ)

アイヌ 期

オサツ遺跡 (アイヌ)

美々-8 遺跡 (アイヌ)

ユカンボシ遺跡 (アイヌ)

ユオイ・ポロモイ遺跡 (ア)

ピパウシ遺跡 イルエカシ遺跡

二風谷遺跡 (ア)

松前 (和人)

上ノ国勝山館 (和人) *

志海苔館 (和人)

安藤一族 (和人)

大川遺跡 (和?) (捺文)

青苗遺跡 (捺文)

札前遺跡 (捺文)

カンカン遺跡 (捺文)

末広遺跡 IH-35 (捺文)

末広遺跡 IH-93 (捺文)

札前遺跡 36 (捺文)

(1739)
Taru-a

(1667)
Taru-b

(1663)
Usu-b

BTM



写真 14 神奈川の土器(1~4) 末広遺跡 IH-35 土器2遺跡、1の断面(右,3cm)

縄文時代以降から縄前a、b火山噴出物降下時までのアイヌ文化期の遺跡から出土した植物遺体

遺跡名	試料採取箇所	コメ	アワ	ヒエ	キビ	小豆	アブラナ科	シソ属	アサ	ナス科	ネギ属	バラ属	タケ属	アカザ属	クラノキ属	キイチゴ属	マタタビ属	ニワトコ属	ブドウ属	ウルシ属	キハダ属	サクラ属	ミズキ属	マクレン属	クルミ属	コナラ属	
		粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	粒	片	個
千歳市ユカンボンC2	建物4	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1片	0
	建物9	0	8	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物11	1	37	90	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	建物20	1	4	7	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	建物30	0	1267	1928	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5片	0
	建物31	2	100	438	19	0	1	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	8	0	3	0	0	0	0	1片	0
	建物37	0	2	50	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	31	0	10	0	0	0	0	3片	0
	その他の遺構	1	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	18	5	0	0	2	1	2	0	1	0	0	0	0	627片	0
合計	5	1488	2624	24	0	1	3	1	0	0	4	29	7	2	0	2	6	45	4	17	0	0	0	0	637片	0	
千歳市美々8	Ta-b下部	○	◎	◎	○		○	◎	○			◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
千歳市東成	建物12	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	若干	0
	層状遺構	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	骨瓮中部(1カ所)	0	4	8	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	40	7	0	0	0	0	0	0	0	
	貝瓮中部(5カ所)	2	419	251	72	0	1	3	0	2	1	0	2	2	0	1	1	3	12	0	3	0	0	0	0	0	若干
	焼土(8カ所)	0	19	14	2	0	0	0	0	1	0	0	1	11	1	0	3	35	5	0	0	0	0	0	0	0	若干
合計	2	443	273	78	0	1	3	0	4	1	0	8	16	1	1	7	81	28	0	4	0	0	0	0	若干	若干	
平取町イルエカシ	7号建物	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	98	227	0	6	14	21	8	2200片	8個	
	16号建物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	5片	0		
	その他の遺構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16608	33	0	3	0	0	1	135片	69個		
	合計	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	16707	261	0	9	14	21	10	2400片	77個		
平取町ビバウシ	3号建物	0	8	207	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	12	0	0	0	0	65片	0
	4号建物	1	56	590	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	7	0	5	0	0	0	0	28片	0
	5号建物	13	18	606	5	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	4	11	21	0	6	0	0	0	0	0	158片	0
	合計	14	79	1403	5	0	0	3	6	0	0	1	1	1	0	4	13	30	0	25	0	0	0	0	0	251片	0
札幌市K39大木地点	2a層	95	1	13	0	0	0	0	0	0	0	34	0	17	0	7	23	25	1	0	0	0	0	0	0	92.98g	1個
	4a層	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	18	0	2	0	0	1	25	0	0	0	0	0	0	0	2.41g	1個
	5層	119	10	166	5	0	0	0	4	2	0	83	0	264	0	19	16	46	2	30	0	0	0	0	0	104.68g	9個
	合計	114	11	182	5	0	0	0	4	2	0	135	0	263	0	26	42	96	3	30	0	0	0	0	0	200.05g	11個

※札幌市K39遺跡 大木地点以外の遺跡は1663年に降下した有珠b火山噴出物もしくは、1667年に噴出した縄前b火山噴出物、1739年に降下した縄前a火山噴出物下位で検出されたもの。

※札幌市K39遺跡 大木地点の年代は、2a層で650±50y.B.P.、4a層で520±50y.B.P.、5層で720±50y.B.P.の放射性炭素年代が得られている。

※千歳市美々8遺跡の場合は正式な報告がまだ出ていないため、これまでの情報などからリストアップしたものである。○は出土量が少ないもの、◎はある程度の量が出土したものの、◎は多量に出土したものである。

※千歳市美々8遺跡とユカンボンC2遺跡でサクラ属としたものはスモモであり、他遺跡の場合はエゾヤマザクラをさす。

第1表 縄文文化の遺跡から出土した栽培種子一覧

遺跡名	時期	アワ	キビ	ヒエ	ヒエ属	トク?	材トク?	コトク?	コム	ソバ	ECコ	ア?	緑豆?	シソ属	アサ	ハ?	ア?	ウリ科	ヒョウ
1.小樽市蘭島D地点	前期 7世紀末								○										
2.小樽市蘭島C遺跡	前期 8世紀前半						○												
3.恵庭市中島松5遺跡B地点	前期 8世紀後半	●	●																
4.恵庭市柏木川1遺跡	前期 8世紀末～9世紀前半	●	●		○										○				
5.泊村ヘロカルウス遺跡	前期 8世紀	○	○				○					○							
6.千歳市九子山遺跡	前期 8世紀	○	○																
7.札幌市N426遺跡	前期 8世紀?	○	○																
8.札幌市K435遺跡	前期～後期 8世紀前半～12世紀	●	●			○	○	○							○				
9.千歳市末広遺跡	前期～後期 8世紀～12世紀	○	○																
10.千歳市オサツ(2)遺跡	前期～中期 8世紀～9世紀	○	○	○				○	○					○	○				
11.千歳市ウサクマイN遺跡	前期～中期 7世紀～10世紀		○																
12.札幌市K113遺跡北34条地点	前期後半 9世紀前半	●	●									○		○	○				
13.札幌市K113遺跡北35条地点	前期～中期 9世紀前半～10世紀中葉	○	○							○					○				
14.札幌市H317遺跡	中期 9世紀末～10世紀前半	●	●	●			○	○						○	○				
15.札幌市サクシュコト二川遺跡	中期 9世紀中葉～10世紀	●	●		○		●	●	○			○		○	○		○	○	○
16.千歳市ユカンボシC2遺跡	中期?	○	○	○				○	○						○				
17.深川市東広島遺跡	中期～後期初頭 10世紀～11世紀								○					○					
18.小平町高砂遺跡	中期～後期 9世紀後半～12世紀												○						
19.札幌市K441遺跡北33条地点	中期～後期 9世紀後半～12世紀	○	○		○		□			○				○					
20.札幌市K39遺跡大木地点	中期～後期 10世紀後半～11世紀前半		○	○												○			
21.苫前町香川三線遺跡	中期後半～後期 10世紀後半～12世紀前半	○	○				□												
22.苫前町香川6遺跡	中期後半～後期 10世紀後半～12世紀	○	○				□							○					
23.札幌市K39遺跡北11条地点	後期 11世紀			○															
24.札幌市K441遺跡北34条地点	後期 11世紀中葉～12世紀	●	●		●		□			○				○					
25.余市町大川遺跡	後期 11世紀～	●	●	●			●	●	●	●	○	○		○	○		○		
26.佐呂間町浜佐島遺跡	後期 11世紀後半～12世紀		○				□								○				
27.清川町十勝木暮月遺跡	後期 11世紀後半～12世紀		●				■							●					
28.松前町札前遺跡	後期 11世紀後半～12世紀	○	○				○	○	○		○								
29.神楽内町観音洞窟	後期 11世紀中葉～12世紀	○																	
30.豊岡町豊貝遺跡	後期 12世紀		●									○				●			
31.遠軽町寒河江遺跡	後期 12世紀	○	○		○														
32.雄武町雄武屋六軒遺跡	後期 12世紀		○				□							○					
33.網走市北斗遺跡	後期 12世紀後半～13世紀		●				□					○			●				
34.根室市西月ヶ丘遺跡	後期 12世紀後半～13世紀		○?																

○1粒～100粒出土

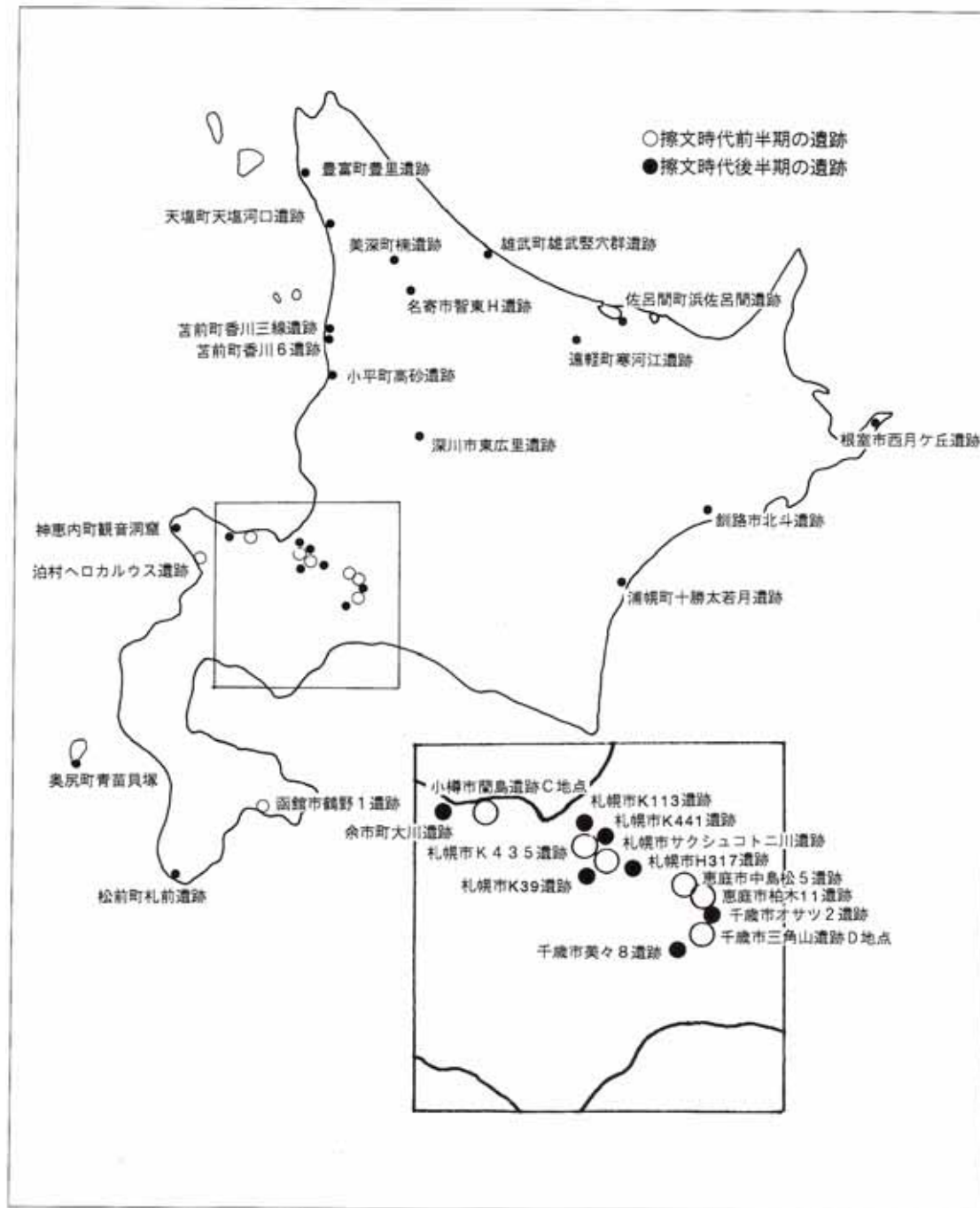
●100粒～1000粒出土

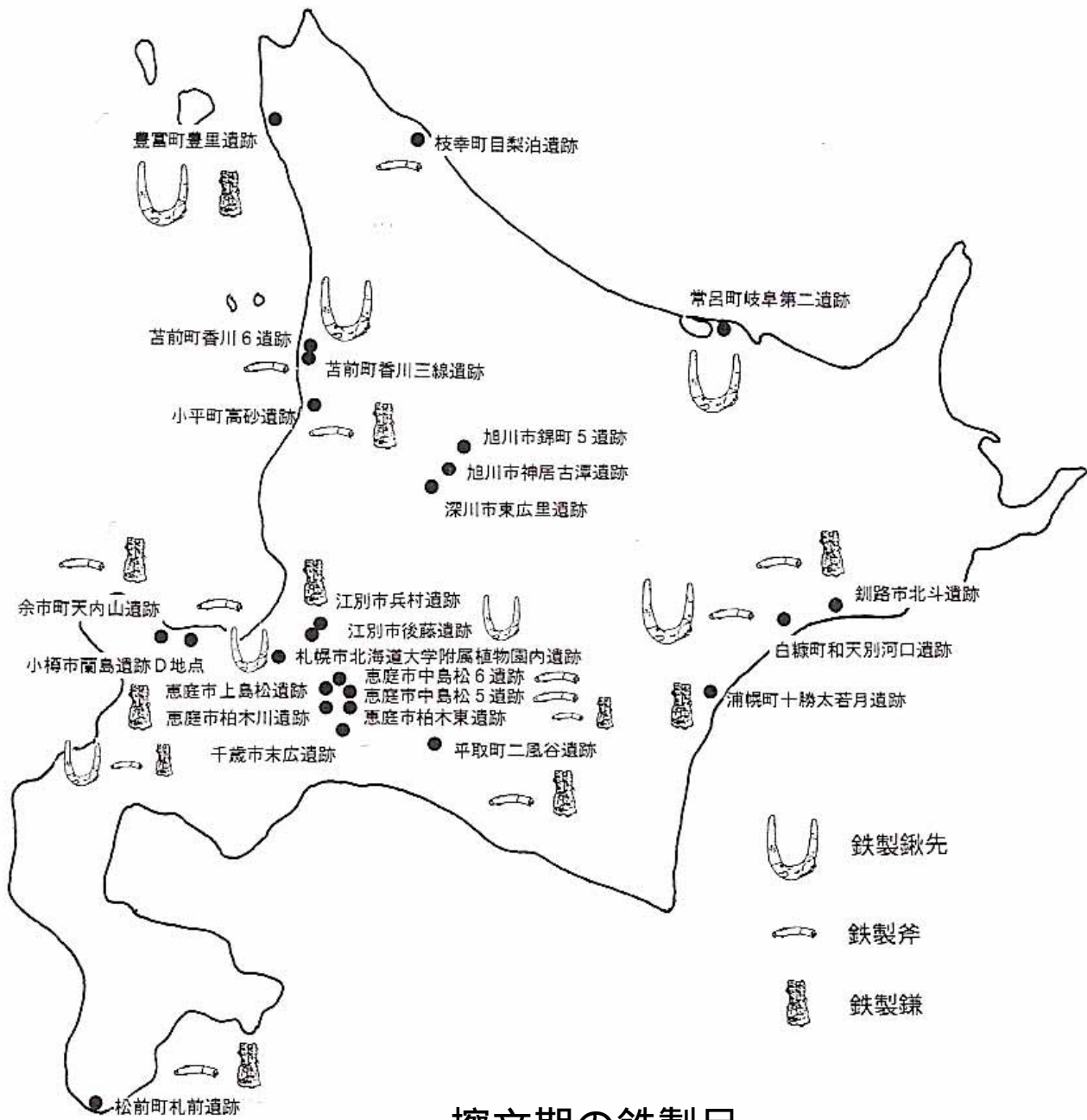
◎1000粒以上出土

□ 縄文オオムギ

1粒～100粒出土

● 縄文オオムギ 100粒以上出土





擦文期の鉄製品

禁農モデル

深澤 (1995)

アイヌ社会におけるの農耕文化は
擦文文化期以後アイヌ社会内の欲求により常に進展
していたと考えられるにもかかわらず、
「意図的なイデオロギー」によってその動きが禁止され
るといふ、人為的行為によって阻害された結果、
実践的な折衝としてアイヌ社会内で再生産され、その
現象が変容した文化的要素として認められるように
なったと考える。これを禁農モデルと呼ぶ。

1786(天明6)年 佐藤玄六郎の報告

『蝦夷地之儀是迄見分仕候趣申上候書付』

「古来より蝦夷地において穀類を作立候儀は法度の様に相成り」

「先年イシカリと申候所の川上にて、稲を作り相応に出来在候処其段松前え相聞、領主役人より申付候哉、又は商人共の仕業の候哉、粃、種子迄残らず取り上、右作仕候蝦夷ともえは、ツクナイを出す為候由の風聞等之有り」

「田畑は少しも御座無き、去り乍遠方山中の蝦夷共は粟はムシロ、稗はビヤバと申、少々宛作り、則見および候処、農具等之れ無き候に付け、草木の間に種子を蒔き置き候のみ御座候得共随分相応に出来立て、夫食に相成候様子にて、其の所々蝦夷は臼、杵等も取り持ちいたし罷申候」

1857(安政4)年 『石狩日誌』 松浦武四郎(1973年丸山道子訳)

「家のそばにはムニコカ(狸豆)、マーメ(いんげん豆)、ムンシロ(粟)、リテアママ(もち粟)、ヒヤハ(稗)などを作っているが、こういう農作業は女の仕事とされている。かれらはまだ鍬を持っていないので、まさかりの側面に木の柄をとりつけて鍬の代わりに使っているが、これは松前藩の方針で、かれらに農業を教えることを禁じているので、運上屋もアイヌには鍬を渡さないためである」

対雁方面では、大根ばかり作っていたので、なぜ穀類も作らないかとたずねたところ、そういう物はつくりたくとも鍬や種が手に入らない

「石狩川中流のトック(徳富)ハツハラの辺りでは場所の番人たちには見つからないように、(見つかりと取り上げられるので)住居から少し離れた場所に、まさかりを利用して畑を耕し、いんげん豆、大豆、稗、粟などを作っており」

1857(安政4)年 『蝦夷草紙』
最上徳内

彼の国法にて、蝦夷地への物の種を渡す事を
停止なり。其故いかんといふ事を知らず」

「密かに按ずるに、蝦夷人農業に力尽くしては、
干魚漁猟の産物も相減じ、請負人の交易も不
足し、運上金も相減ぜんとの故なるべし」

耕作面積の縮小

1800年 68.0坪(224.4m²)

1858年 33.3坪(109.9m²)

(羽田野 1981)

1857(安政4)年 『石狩日誌』
松浦武四郎(1973年丸山道子訳)

松前藩の流言飛語

「アイヌが畑に種をまいたりすると、蝦夷地の神様が怒って悪い病気を流行らせるだろう。そうしたら、アイヌの子孫は絶えてしまうだろう」

「畑などを作ってアイヌの神の崇りで、病気になってしんでも良いというなら作れ、シャモのまねをして畑をどうしても作るというのなら、江戸のニシパのようにお前達もすぐにひげをそって、和人語を使え。和人語を使うような奴はその名前を書いて弁天様の前で焼いてやる。そうすればすぐに死んでしまうからな」

安斉正人「対談：人類史の可能性」『現代思想』 1990

渡辺仁談

「樺太アイヌなんかも農耕などをうっかり真似してやると病気になるとか、子孫が不幸になるとかそういうことが言われていましたね」